



さんないまるやま つうしん

第 59 号

平成26年1月9日

青森県教育庁文化財保護課
三内丸山遺跡保存活用推進室
〒030-8540 青森市新町2丁目3-1
TEL (017) 734-9924
FAX (017) 734-8280

三内丸山遺跡縄文時遊館
〒038-0031 青森市三内字丸山305
TEL (017) 781-6078
FAX (017) 781-6103
URL: <http://sannaimaruyama.pref.aomori.jp/>

三内丸山通信

【柳沢さん（左）】



アムは、平成二十二

さんまるミュージアム

さんまるミュージアム

見学者50万人達成

年七月から公開されていました。十月十七日、公開から三年で見学者が五十万人に達しました。

記念すべき五十万人目の見学者は、八戸市からお越しの柳沢涼子さんでした。

記念品を贈られた柳沢さんは、「五十万人目となり、とてもうれしい。三内丸山遺跡もだいぶ変わりびっくりしましたが、大型堅穴住居などいろいろと見て帰りたい」と話していました。



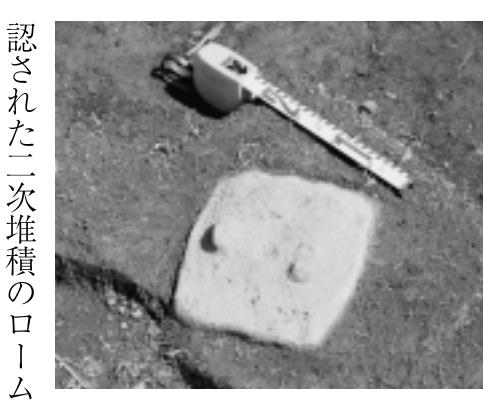
【環状配石墓の様子】



【キノコ形土製品】

西盛土西側の出土品は、土器や石器がほとんどで、中でもキノコ形土製品や脚のついた石皿片は注目されます。

キノコ形土製品は、裏面を上にした状態で、ほぼ完全な形で見つかりました。



【脚のついた石皿片】

認された二次堆積のローム質土の分布範囲や土の堆積状況を把握するための調査を行いました。

二次堆積ローム質土は北端部の南北に広がることがわかり、焼土・炭化物・土器・石器などが多量に含まれています。

これまでの調査で、土坑（土坑墓を含む）、埋設土器、盛土、道路跡などが確認されていますが、今年度新たに環状配石墓一基、土坑墓四基、柱穴五基、土坑六基、貯蔵穴二基、道路跡を確認しました。

また、道路跡とそれに伴う土坑墓列が南東に延長すること、さらに南西側斜面下では貯蔵穴が二基確認され、斜面に貯蔵穴が分布することがわかれました。

土坑墓は、盛土の下で確認され、盛土よりも古い可能性が高いことがわかりました。土坑墓からは年代を明確に示す遺物は発見されていませんが、盛土から出土した土器のほとんどが前期末葉（約五千年前）～中期前葉（約四千八百年前）であることから、土坑墓は前期末葉～中期前葉以前に作られたものと考えられます。

また、環状配石墓は盛土の上に作られていたため、盛土よりも新しく、中期前葉以降のものと考えられます。これまでの調査で検出された環状配石墓は、中期後半のもので、今回発見されたものと考えられます。

西盛土西側の出土品は、土器や石器がほとんどで、中でもキノコ形土製品や脚のついた石皿片は注目されます。

キノコ形土製品は、裏面を上にした状態で、ほぼ完全な形で見つかりました。

遺構の分布や詳しい年代を把握することを目的としました。行いました。西盛土西側では、遺構の分布や詳しい年代を把握することを目的としました。

これまで、西盛土の西側を中心に行なって、北端部も並行して調査を行いました。西盛土西側では、遺構の分布や詳しい年代を把握することを目的としました。



【第37次調査区の位置】

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の登録を目指す青森県は、世界遺産の制度や縄文遺跡群の特徴などを紹介する「世界遺産縄文講座」を開催しています。

七月十二日、青森市立筒井南小学校では、三村申吾青森県知事が講師を務めました。

参加した子ども達は世界遺産

の種類や縄文人の生活についての話を聞きました。また、

約五千年前の土器・石器を手

にした子ども達は、実際の重

さや感触を確かめて縄文時代

の道具について学びました。

西盛土西側の出土品は、土

器や石器がほとんどで、中で

もキノコ形土製品や脚のついた石皿片は注目されます。

キノコ形土製品は、裏面を

上にした状態で、ほぼ完全な形で見つかりました。

講義の最後に知事と子ども達の「世界遺産登録へ向けて頑張ろう！」のかけ声が、体育館に力強く響きました。

講義の最後に知事と子ども達の「世界遺産登録へ向けて頑張ろう！」のかけ声が、体育館に力強く響きました。

世界遺産縄文講座で学ぼう



【知事と小学生のみなさん】



冬のイベント情報

■平成二十五年度企画展 「穴・覗・考」

現在さんまるミュージアムでは平成二十五年度企画展「穴・覗・考」を開催しています。

三内丸山遺跡では、穴のあいた遺物が多く出土しています。

土器や土偶、土製品・石製品などにあいた穴を観察し、その目的や用途を考え、穴をあける方法や道具について紹介しています。とくに板状土偶の内部にあけられた穴の様子は、X線写真を展示してお



■縄文冬祭り

平成二十六年二月十五・十六日の二日間、「縄文冬祭り」を開催します。内容が決定次第、ホームページやチラシ等でお知らせします。

午前中二回にわたって発掘調査の現地説明会を開催し、多くの方が見学に訪れました。担当者の説明を聞きながら、見つかった環状配石墓や土器などの出土品を間近で見学しました。

このほか、縄文ワーキング、縄文フォーラムや、お月見コンサートなど、たくさんのイベントが行われました。

午前中二回にわたって発掘調査の現地説明会を開催されま

■縄文大祭典

九月二十一・二十三日に、縄文大祭典が開催されました。

ト展や縄文生活体験、クリスマスラリー、縄文ものづくり体験、昔つこのあそびなどが行われました。この中で、

縄文の家づくり完成イベントも行われ、秋祭りを盛り上げました。

三内丸山遺跡や縄文文化に触れる「さんまる縄文体験」を毎年行っています。

五月から十一月まで一回コース七回、二回コース一回の計九回開催しました。

今年度初めて行った「木の実を割る、皮をむくなどを行い、実際に試食しました。日本一の土偶の出土数を誇る三内丸山遺跡や縄文文化に触れる「さんまる縄文体験」を毎年行っています。

五月から十一月まで一回コース七回、二回コース一回の計九回開催しました。講師を招いて、遺跡から出土した本物の土偶を使つてレプリカ（複製）を作り、講師を招いて、遺跡から出土した本物の土偶を使つてレプリカ（複製）を作り、展示できるようなレプリカで展示できるようなレプリカを作ります。

三内丸山遺跡ならではの「土偶のレプリカ作り」も行いました。講師を招いて、遺跡から出土した本物の土偶を使つてレプリカ（複製）を作り、展示できるようなレプリカで展示できるようなレプリカを作ります。

縄文大祭典・秋祭り開催



【現地説明会の様子】

体験したよ!「さんまる縄文体験」

三内丸山遺跡のご案内

休館日 12月30日～1月1日 見学校 無料

開館時間

10月～5月は9時～17時
6月～9月は9時～18時
(入場は閉館の30分前まで)

さんまるミュージアムの定時案内

10：30～、13：30～の2回行っています
(所要時間20分)

ボランティアガイドの定時案内

1回目は9時15分から(※8/1～8/15は9：00から)
その後は10時から1時間ごと、最後は16：00から
(※10/1～3/31は15：30から)

見学の問い合わせ先

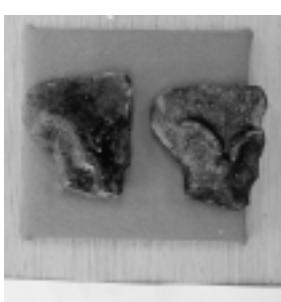
017-766-8282 (三内丸山応援隊)

交通機関

□青森市営バス
JR青森駅から⑥番乗り場「運転免許センター」行き
三内丸山遺跡前で下車 料金300円 約20分
□ねぶたん号
JR新青森駅南口から左回り乗車
三内丸山遺跡前で下車 料金200円 約10分



【木の実を調理してみよう】



【本物の土偶片(左)と
製作したレプリカ(右)】

さんまる縄文体験は来年度も実施する予定です。いろいろな体験メニューを企画しますので、ホームページやチラシ等でお知らせします。内容や日程をご確認ください。